



machibitokirari

11月の主人公

Cover story
No. 63

ママが生き生きと輝いているのは 家族の思いやりと やりがいのある仕事があるから。

interviewee

杉本 亜希子 さん

すぎもと・あきこ 43歳

株式会社みらいパーク竜王 総務部 アグリ総務 企画広報(勤務歴6年)

長男(高3)・次男(中1)・長女(小1) 3子の母



1 観光客の興味を引くチラシやポスターでパーク内の情報を効果的に宣伝 2 新商品のパッケージには自身が手書きで作成したタイトルが採用。ひとさわ喜びが増す瞬間 3 廃材の再利用や古布をリメイクして商品台を日曜大工することも。田園資料館の駄菓子コーナーは特に力作。4 率先して料理を手伝ってくれる子どもたち。子どもたちの笑顔があるからがんばれます。5 パパと長男には特に感謝。楽しんで家事をする姿がきょうだいのお手本にもなっているようです。

一仕事のきっかけは？家事との両立はどうですか？

最初はパーク内のカフェで料理教室の講師を頼まれ、そのまま週1回のアルバイトをしていました。3年ほど経ち、清水駅長から週4日勤務で企画広報の仕事してみないかと声を掛けられ、アルバイトからパートに。切り替え当時は末子の長女が保育園の年中でしたが、やってみたい意思を伝えると夫も子どもたちも賛成してくれました。平日は仕事と家事に追われる私を見て、夫や長男が保育園のお迎えに行ってくれたり洗濯物を片付けてくれたり協力してくれることが増え、今では「ただいま！」と帰るとキッチンで子どもたちが夫と一緒に夕飯を作って出迎えてくれることもあります。家族が私のことを思って家事を分担してくれていることを本当にうれしく思います。

一企画広報の仕事はどんな仕事ですか？

企画広報の仕事ってほとんどが裏方仕事なんです。商品PRのチラシやポップの作成、時には日曜大工で販売コーナーや作業台を作ることもあります。最近は、写真や動画を編集してInstagramやYouTubeにもアップしています。どのようなタイミングで、どのような媒体を使い情報を発信すればより多くの人に伝わるかを考え、実行する必要があります。なので、私の携帯電話には山之上の観光農園や商品の写真でいつもいっぱいです。自分たちが手掛けたものが、どんどん形になって、お客様や生産者に喜んでいただけること、上司や同僚からも「いいものができたね」と言ってもらえたときの「届いた」という瞬間が何よりうれしいですね。

一育児中の女性が働きやすくなるためには？

子育て中ということで、サービス業ながらも土日にお休みをいただいたり、コロナ禍ではテレワークをさせてもらったり、働きやすい環境にさせていただいています。職場は育児中の女性も多いので気後れすることはありません。世間はまだまだ育児中の女性が働ける環境とは言えないと思います。だからこそ、今私がここに勤められていることに感謝し、それを支えてくれる家族にも感謝の気持ちを忘れてはいけないと思っています。



やっぱり、家族っていいね。

家族の日 家族の週間

家族の日11/15◎
家族の週間11/8◎～21◎

家ごとファミリープロジェクト

「家のことを、家族みんなでしよう！」をテーマに、皆さんの家族の家事写真を募集します。家事を家族と一緒にやれば効率アップ、絆も深まります。応募いただいた写真はプロジェクトの推進を図るため、町ホームページや広報誌等に掲載します。写真(タイトル付き)とともに氏名・住所、連絡先をお送りください。

